

# サガハイマツト通信

VOL.12

(平成28年1月号)

## サガハイマツト治療者数が1000人を超えました



看護スタッフ



公益財団法人  
佐賀国際重粒子線がん治療財団

理事長 中川原 章

### 新年ごあいさつ

あけましておめでとうございます。

サガハイマツトは平成25年8月27日に治療を開始して昨年の10月20日までに治療患者数が1,000人を超えました。これは、当初の事業計画を大幅に上回るもので、改めてサガハイマツトに対する期待の高さを実感いたしました。これまで開設、運営にご協力いただいた皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

引き続き、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう職員一丸となって取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願いします。



サガハイマツトは、九州国際重粒子線がん治療センターの愛称です

サガハイマツトの受診に関する相談窓口

電話 0942-50-8812

(受付時間:平日の9時~12時、13時~17時)

メール [saga-himat@saga-himat.jp](mailto:saga-himat@saga-himat.jp)

塩山善之  
副センター長  
インタビュー



【略歴】

しおやま・よしゆき／医学博士。九州国際重粒子線がん治療センター副センター長。九州大学医学部を卒業後、同大学の放射線科に入局。高精度放射線治療、粒子線治療などでがん治療に携わってきた。

九州国際重粒子線がん治療センター(愛称:サガハイマツト)

# 治療患者

## 肝臓、肺、すい臓

治療患者数が1000人を超えた節目として、改めてこれまでの推移や重粒子線がん治療の特長、今後の展望などを塩山善之副センター長に聞きました。

### 食道、子宮がんの治療へ準備

▼治療対象部位は当初、前立腺がんのみでしたが、現在はいかがですか。

治療部位で最も多いのは前立腺がんですが、肝臓、肺、すい臓がんの治療も増えており、特にすい臓がんの患者さんが増えています。

いずれのがんも重粒子線以外にも様々な治療法がありますが、痛みがなく体への負担が少ない重粒子線への期待が高まっている結果だと思えます。

特に、小さな肝臓がんや肺がんは、すべて外来で治療ができ、高い効果が期待できますが、前立腺がんほど認知度が高くありません。そのため、これらのがんも治療できることが周知されれば今後はもっと患者さんが増えると思えます。

▼治療対象を拡大するとうかがっていますが。

現在は、先ほど挙げた前立腺、肝臓、肺、すい臓のほか、頭頸部、骨軟部、直腸の術後再発(骨盤内)のがんが治療対象となります。

数は少ないですが、腎臓がん、単発の転移性がんなども実績があります。また、子宮がんや食道がんを治療対象として拡大するため、準備を進めているところです。

将来的には、放射線医学総合研究所(千葉市)で

の臨床試験中である乳がんへの対象拡大も検討していきたいと思っています。

▼改めて、重粒子線による治療法や特長、治療日数などを教えてください。特に佐賀県に多い肝臓がんの治療についてはいかがですか。

重粒子線は、簡単にいえば炭素イオンを光速の約7割まで加速させ、がんの大きさに合わせて照射する治療法です。重粒子線は、体の深部で最もエネルギーが高くなった後に止まる性質があるので、患部に効率よく照射できるのが特長です。がんを叩く力も強く、従来の放射線治療ではあまり効果がなかった骨軟部肉腫にも高い効果が認められています。

また、体を切らないため、体への負担も少なく、外来で治療できるのも利点です。前立腺がんの場合、従来のエックス線治療では約2カ月間に40回程度の照射が必要で、この治療期間の長さがデメリットでしたが、重粒子線の場合、3週間に12回の照射で済みます。また、肺がんや肝臓がんも、小さなものであれば2~4回で済みます。短期間で治療できる社会的メリットは大きく、仕事や家事などへの影響を少なくできます。

肝臓がんは様々な治療法がありますが、重粒子線は体力がなくても、また、エックス線治療では対応できない大きさのがんも治療できます。さらに、他の治療法では難しいケースでも治療できる場合もあ



# 1000人を超える の治療が増える

ります。

佐賀県は肝臓がんの患者数が多く、佐賀大学には肝がんの講座があります。お互いに協力しながら治療や再発防止に向けた取り組みを検討していきたいと思います。

▼他の医療機関との連携を大事にされているようですが、連携体制はどうなっていますか。

開院前から九州大学をはじめとする九州各県の大学病院や地域の中核病院などとの連携を大切にしており、現在は70を超える医療機関と協定を締結しています。このうち、九州大学、佐賀大学、久留米大学、そして福岡大学の附属病院では、重粒子線治療を希望する患者さんへの情報提供や適応判断を行う「粒子線治療相談外来」を設けてもらっています。

また、様々な医療機関から紹介いただいた患者さんを丁寧に診察することはもちろんですが、治療後の経過観察を紹介元の医療機関と一緒に行っており、情報共有に努めています。

## 2017年春、新治療室稼働予定

▼最新技術を用いた3室目の治療室の整備計画など、今後の展開について教えてください。

3室目の治療室は、スキャニング照射という最先端の高度な技術を採用します。従来の治療法より準備期間が1週間ほど短縮され、照射範囲も広がります。2017年春の稼働に向けて、現在はビームの調整を進めています。

新治療室が開設すれば、患者さんの受け入れ人数が増えるだけでなく、患者さんの病態に応じて、

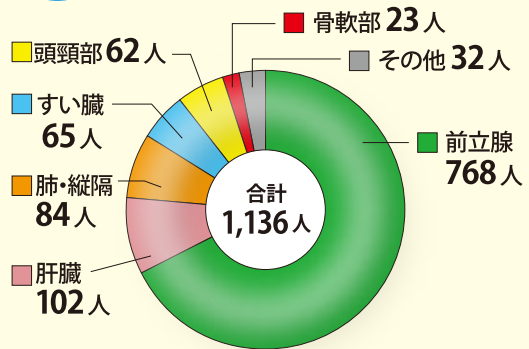
データで見るサガハイマツト

### 部位別患者数

2015年12月末日現在

#### 前立腺がんが68%

部位別では、前立腺がんが768人で全体の約68%を占めました。最初に治療を開始したのが前立腺がんだったことが要因です。2番目に多いのが肝臓の102人で全体の約9%。次いで肺・縦隔84人、すい臓65人、頭頸部62人、骨軟部23人、その他※が32人となっています。



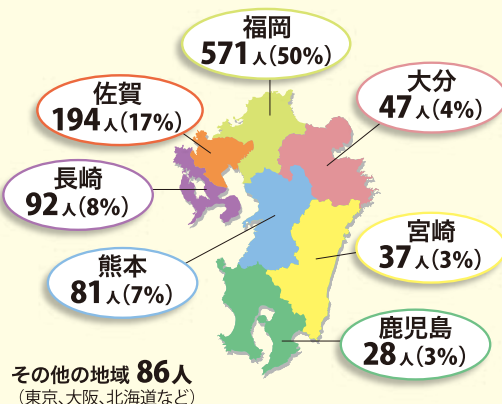
※その他は直腸(骨盤内再発)、腎臓、リンパ節など

### 地域別患者数

2015年12月末日現在

#### 患者数九州7県で92%

都道府県別に見ると、福岡県が571人で最も多く、全体の50%。次いで佐賀県194人(17%)、長崎県92人(8%)、熊本県81人(7%)、大分県47人(4%)、宮崎県37人(3%)、鹿児島県28人(3%)となっています。九州7県で92%を占めています。



特徴が異なる従来の治療法と新技術を使い分けることが可能となるため、患者さんにとってより良い治療が提供できる施設を目指していきます。

参加者募集

## 2月14日に重粒子線フォーラム開催!

がん治療の新たな選択肢として期待されている重粒子線がん治療と、その最先端の治療を提供するサガハイマツについて理解を深めてもらおうと、サガハイマツとサガテレビの主催により、重粒子線フォーラムを開催します。

サガハイマツ&サガテレビ医療フォーラム

### 「重粒子線がん治療の 今とこれから」

とき **2月14日(日)14:00～16:00**

ところ **武雄市文化会館(武雄市武雄町)**

#### ①「サガハイマツの近況報告」

九州国際重粒子線がん治療センター副センター長 **塩山善之**

#### ②放射線治療に関する基調講演

東京大学医学部附属病院放射線科准教授 **中川恵一氏**



中川恵一氏

#### ③対談「今井雄太郎、がんを語る」

サガハイマツ治療体験者(元プロ野球選手) **今井雄太郎氏**

九州国際重粒子線がん治療センター副センター長 **塩山善之**

九州国際重粒子線がん治療センター主任医長 **篠藤 誠**



今井雄太郎氏

**入場無料** 定員:先着 400名  
(参加登録が必要)

【参加登録方法】  
WEBまたはFAXでお申し込みください。

WEB <http://www.sagatv.co.jp/>

FAX **0952(29)2868**

(住所、氏名、連絡先、参加人数を記入)

【問い合わせ】

サガテレビ ☎**0952(23)9118**  
(平日9:30～17:30)

### スタッフ紹介

看護師 **坂口 温子さん**

【略歴】

さかぐち・あつこ / 1986年福岡県みやま市生まれ。  
2007年、九州大学病院を経て2014年5月からサガ  
ハイマツ勤務。趣味は旅行。



### 正しい情報を伝え信頼関係築く

看護師は、外来、治療準備、治療のそれぞれで患者さんにかかわります。患者さんは明るい笑顔を見せていても、がんという病を抱え内心不安でいっぱいの人もいらっしゃいます。私たちは患者さんに安心して治療を受けてもらえるよう、笑顔を忘れず正しい情報を伝えています。患者さんに寄り添ってさらに信頼関係を築いていけるよう努めています。

### ●寄附をお願いします●

佐賀国際重粒子線がん治療財団では、引き続き皆さんからの寄附を募集しています。県内、ひいては九州のがん医療の充実につながるサガハイマツへのご支援をよろしくお願いします。

なお、当財団へご寄附をいただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として、税制上の優遇措置があります。詳しくは、当財団までお問い合わせください。

### サガハイマツ通信 vol.12

(平成28年1月号)

【お問い合わせ】

発行 ■ 公益財団法人  
佐賀国際重粒子線がん治療財団 (担当) 落合、本村

所在地 ■ 〒841-0071 佐賀県鳥栖市原古賀町 3049 番地

TEL ■ 0942(81)1897 FAX ■ 0942(81)1905

HP ■ <http://www.saga-himat.jp/>